

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321064	保育内容（表現）（1単位）	永津利衣・松井素子			1	必修	1前期

科目の概要

本科目ではDP1.3.5をふまえ、「真心・努力・奉仕・感謝」の精神を大切にしながら、自らの可能性を広げ、社会的自立に必要な力を総合的に身に付けるとともに、保育者に求められる専門的知識・技能の修得を目指す。子どもたちが主体的かつ創造的に表現活動を行えるよう、発達段階に応じた表現の特徴を理解し、多様な体験を通じて学びを深める。特に、子どもの図画表現や音楽表現の発達過程を理解し、教育・保育現場で実践的に活用できる表現方法を身に付けることを重視する。さらに、子どもの表現に関する幅広い知識を習得し、小学校での学びとの関連性を考察していく。

学修内容	到達目標
① 幼稚園教育要領をふまえ、幼児の発達を理解する ② 表現の楽しさを体験し、感性を養うために必要な手法を体得する ③ 子どもの視点に立って制作や音楽的表現の工夫をする	① 幼稚園教育要領をふまえた幼児の発達に関する知識を獲得し、理解することができる ② 感性を養うための表現とは何かを理解し、その活用として、造形遊び・音楽遊びを考案することができる ③ 子どもの視点に立って課題を解決し、創意工夫をふまえた発展的な制作や音楽表現を実践することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題を実施するのに必要な知識について、資料を使って自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	推測で判断せずに、客観的に情報を整理して、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	固定観念に捉われることなく、多角的に物事を考察することができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を整理し、工夫した発表をすることができる。
	傾聴力	他者の意見を確認し、真摯な態度で耳を傾けることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	他者の意見を確認し、真摯な態度で耳を傾けることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

「幼稚園教育要領」（平成29年3月公示 文部科学省）、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月公示 文部科学省）、適宜資料を配布する。

他科目との関連、資格との関連

本科目は、学科専門科目群の幼・保領域領域の中の「保育の内容・方法に関連する科目」に配置されており、保育内容の5領域に関連する科目であり、「保育内容（表現）音楽の指導法」「保育内容（表現）造形の指導法Ⅰ・Ⅱ」につながる科目である。
また、保育士の選択必修科目、幼稚園教諭1種の資格必修科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
・街中で出会う子どものさまざまな表現する姿や、自然や身の回りの様子に関心を寄せ、観察しよう。 ・自分自身の内面の動きに着目しながら、さまざまな表現にチャレンジしよう。 ・授業の解説の中で大切だと思うことをメモする習慣をつけましょう。	今後、表現について学んでいく上で基礎となる科目である。やむを得ず欠席、遅刻・早退する場合は、本学の学則等に則って判断する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	30	①	✓			（獲得）幼児の表現活動を体感して、幼児期の表現領域について理解する（40％） （活用）表現への欲求に関する感性について、体感したことを言語化できる（40％） （解決）幼児期の表現に向かう感性について、言語化したことを発表により共有できる（20％）
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			（獲得）幼児の表現活動を自分なりに体感して、幼児期の表現領域について理解する（40％） （活用）体感の言語化を基盤とし、自分なりの表現の発表ができる（40％） （解決）作品発表を他者と共有し、自身の感性を広げることが出来る（20％）
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）課題を実施するのに必要な知識について、資料を使って自己学修することができる。 （実行力）困難があっても目標を変更せず到達することができる。 （課題発見力）推測で判断せずに、客観的に情報を整理して、課題を見極めることができる。 （創造力）固定観念に捉われることなく、多角的に物事を考察することができる。 （発信力）自分の意見を整理し、工夫した発表をすることができる。 （傾聴力）他者の意見を確認し、真摯な態度で耳を傾けることができる。 （規律性）他者の意見を確認し、真摯な態度で耳を傾けることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）幼児の発達について理解した上で、感性を養うためのさまざまな表現遊びを豊かな発想で考案し、創意工夫して実践することができる。 A（優）幼児の発達について理解した上で、感性を養うためのさまざまな表現遊びを考案し、創意工夫して実践することができる。	B（良）幼児の発達について理解した上で、さまざまな表現遊びを考案し、創意工夫して実践することができる。 C（可）さまざまな表現遊びを考案し、実践することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	＜プレゼンテーション＞ 本科目の目標 授業計画の説明 持参物、材料の説明	講義 小演習	本科目の目標と授業の構成について、大まかに理解できている	(予習) 『幼稚園指導要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』における領域「表現」を熟読する (復習) 持参物の準備をする	180	主体性 課題発見力 計画力 傾聴力 状況把握力 規律性
2	＜表現への欲求＞ 洞窟壁画に見る人類の造形表現とは（絵画）	講義 演習 作品制作 グループワーク発表	平面に表現された洞窟壁画に関心を持ち、作品制作に取り組んでいる (アイデアメモとスケッチブックの提出)	(予習) 世界中の洞窟壁画についてリサーチする (復習) 自分自身の洞窟壁画を完成させる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
3	＜洞窟壁画と幼児の造形表現＞ 洞窟壁画の表現を体験し、幼児の絵画表現との共通性をグループで考察し、発表する	講義 演習 グループワーク発表 小レポート	洞窟壁画の表現と幼児の絵画表現との共通性を考察することに関心を持ち、グループワークの話し合いに参加し、自分なりの考えを持つことが出来る（小レポートの提出）	(予習) 自分の幼児期の作品も含め、幼児の絵画についてリサーチする (復習) グループワークの話し合いを基盤に、自分なりの考えを小レポートにまとめる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
4	＜表現への欲求＞ 立体作品（紀元前）に見る人類の造形表現とは（立体）	講義 演習 作品制作 グループワーク発表	立体に表現された紀元前の立体作品に関心を持ち、制作に取り組んでいる（アイデアメモと立体作品の提出）	(予習) 世界中の紀元前の立体作品についてリサーチする (復習) 自分自身の想いを明確にして、立体作品を完成させる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	＜紀元前の立体作品と幼児の造形表現＞ 紀元前の立体の表現を体験し、幼児の絵画表現との共通性をグループで考察し、発表する	講義 演習 グループワーク発表 小レポート	紀元前の立体表現と幼児の立体表現との共通性を考察することに関心を持ち、グループワークの話し合いに参加し、自分なりの考えを持つことが出来る（小レポートの提出）	(予習) 自分の幼児期の作品も含め、幼児の立体作品についてリサーチする (復習) グループワークの話し合いを基盤に、自分なりの考えを小レポートにまとめる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	＜音楽する人間―世界の民族音楽から＞ 身の回りのモノを使って音を鳴らしたり、声を使って表現する意義など、人間にとって音や音楽で表現することについて考える。	講義 演習 グループワーク発表 小レポート	音や音楽で表現することの意味を考え、グループワークに参加し、自分なりの考えを持つことが出来る（小レポートの提出）	(予習) 自分自身の音楽に対する考えやイメージを考えてくる。 (復習) グループワークの話し合いを基に、自分なりの考えを小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
7	＜人とつながる音楽～感じ取る・伝え合う＞ ワークを通して、子どもを感受し受け止める力を養う。 ふれあい遊び・歌遊びを行う。	講義 演習 グループワーク発表 小レポート	子どもの感受や受容について理解し（小レポートの提出）、歌遊びを覚えることができる。	(予習) 自分自身の歩く速さ（テンポ）や話す速さを意識する。 (復習) グループワークの話し合いを基に、自分なりの考えを小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
8	＜身近な環境と音(1)―音感受＞ 耳を開き、五感を通して、周囲の環境の音や、楽器・身の回りのモノのさまざまな音の響きを感じ取る。	講義 演習 ディスカッション・発表 小レポート	音感受の体験を通して、自分なりの考えを持つことが出来る（小レポートの提出）。	(予習) テレビCM等のユニークな音をリサーチする。 (復習) 授業での体験を基に、自分なりの考えを小レポートにまとめる。	180	主体性 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	＜身近な環境と音(2)－サウンドウォーク＞ 学内の音探しを行い、記録する。	演習 グループワーク	身の回りの環境に関心をもち、さまざまな音に気づくことができる。また、気づいた音をマップに記録することができる。	(予習) 身の回りで印象に残った音をリサーチする。 (復習) サウンドウォークで収集した音をマップにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
10	＜身近な環境と音(3)－擬音で表現する＞ 身の回りの音探しを行い、擬音語(オノマトペ)で表す。音を聴いたときの自分自身の気持ちを捉える。	オンデマンド 小レポート	身の回りの環境に関心をもち、さまざまな音に気づくことができる。また、気づいた音をオノマトペで表すことができる。(小レポートの提出)	(予習) 身の回りで印象に残った音をリサーチする。 (復習) 身の回りで収集した音についての課題を小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
11	＜表現の融合①＞ 感じた音を色や形に表す(絵画と音楽)	講義 演習 作品制作・発表	感じた音を色や形に表すことに関心をもち、作品を制作することができる	(予習) 音楽的だと評される絵画について調べ、その作品について調べる (復習) 音楽と制作した作品に対する小レポートを書く	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
12	＜表現の融合②＞ 感じた音を形に表す(音楽と立体)	講義 演習 作品制作・発表	感じた音を形に表すことに関心をもち、作品を制作することができる	(予習) 自分が音楽的だと感じる立体作品について調べる (復習) 音楽と制作した作品に対する小レポートを書く	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
13	＜素材と表現－身体・声を使って＞ 身体で鳴らすことのできる音素材を探し、ボディパーカッションやヴォイスパーカッションで表現する。	講義 演習 グループワーク・発表 小レポート	身体で鳴らすことのできる音素材を探し、リズム表現を工夫して発表することができる(小レポートの提出)。	(予習) 指定された動画を視聴する。 (復習) グループワークを基に、気づき等を小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
14	＜色や形に表したものから音楽を作る(音楽・絵画)＞ 制作した作品(図形楽譜)に対してふさわしい音素材を探して、即興で音楽を奏でて遊ぶ。	講義 演習 グループワーク・発表 小レポート	図形楽譜にふさわしい音素材を探し、音楽表現を工夫して発表することができる(小レポートの提出)。	(予習) 第8週の学習内容を復習をする。 (復習) グループワークを基に、気づき等を小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
15	＜自分で作った楽器で演奏会(音楽・工作)＞ 制作した手作り楽器を用いて、それにふさわしい子どもの歌を探して、合奏する。	講義 演習 グループワーク・発表 小レポート	手作り楽器にふさわしい楽曲を探し、音楽表現を工夫して合奏を演奏することができる(小レポートの提出)。	(予習) 手作り楽器の音の特徴や鳴らし方の工夫を考えてくる。 (復習) グループワークの過程や発表の感想について小レポートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力